

## 観光施設・サービス等の料金設定等に関する調査・研究会（第2回） 議事概要

日時：令和8年5月27日（水）13：00～15：00

場所：中央合同庁舎2号館低層棟共用会議室6（オンライン併用）

出席者：

（委員）

矢ヶ崎座長、田林委員、樋口委員、日高委員、二神委員、宮島委員

（事務局）

観光庁 長崎観光地域振興部長、今井参事官（外客受入担当）、江崎参事官（外客受入担当）付主査

（オブザーバー）

内閣府 迎賓館総務課

宮内庁 長官官房参事官

総務省 自治行政局行政課

文化庁 企画調整課、文化資源政策・記念物課、美術学芸課、参事官（文化拠点担当）

国土交通省 大臣官房参事官（交通産業）、鉄道局鉄道サービス政策室、物流・自動車局旅客課、海事局内航課、航空局航空事業課

環境省 自然環境局国立公園課

<富士吉田市 発表>

○資料1に基づき、富士吉田市より発表

○新倉山浅間公園に近い駐車場は高く、遠い駐車場は安く、といった形で料金差を設けたとのことだが、どの程度効果があったのか。また、観光客の受入れ数に関する上限を設けることは考えているのか。

→民間駐車場も含め、一定の分散が図られていると考えている。また、きれいな富士山をゆっくり見られるかという観点からすると、今の観光客の数は少し多いと感じており、公園の有料化や予約制などは、今後の検討課題。〔富士吉田市〕

○駐車料金について周辺の駐車場の料金水準を見て決めたとのことだが、ビジネスの視点から考えると、公園内の魅力向上も含めて、必要となるコストから逆算して算出するとか、繁閑に応じて変動させる、一般の車と観光バスとで料金体系を分ける、といった対応があり得ると考えるが、いかがか。

→現段階では、公園内の満足度がまだ高いとは言えない状況であると考えているが、駐車料金としてではなく、公園の有料化や予約制などを検討する中で、どのように公園を魅力的な公園にしていくかという点についても検討していきたい。〔富士吉田市〕

○資料1の8ページに、今後の検討すべき点として、動向調査が挙げられているが、どのように行う予定なのか。また、その結果はどのように公表するのか。

- 今後、忠霊塔を中心に観光客の流れをどのようにコントロールしていけばいいのか、市のオーバーツーリズム対策部会で考えていきたい。〔富士吉田市〕
- 駐車場有料化に当たっては、地元の自治会の方々と丁寧に調整されたということだが、有料化後については、どのように住民の方々と現状を共有し、今後に向けた議論を行っているのか。また、観光関連の事業者はどのような意見を持っているか。
- 例年、自治会の皆様とは、桜まつりの開催に向けて意見交換を行っているところ。今年の桜まつり中止の際にも皆様からご意見を頂いており、来年度に向けても継続的に意見交換を行っていく。また、観光関連事業者の意見も、これまで税金を使って経費を捻出していたものがきちんと受益者負担になってよかったねという肯定的な意見であり、否定的な意見は、今のところ聞いていない。〔富士吉田市〕
- 駐車場有料化は、やはり恐る恐る行ったのか、ご所感の範囲で構わないので、教えていただきたい。
- もともと駐車場を有料化した方が良いという意見がすごく多く、議会でも特段反対は無かったので、有料化に特段懸念があったわけではない。市民からも妥当である、という反応が寄せられている。〔富士吉田市〕

<京都市交通局 発表>

- 資料2に基づき、京都市交通局より発表
- 今後、観光特急バスの利用者の増加を図るための取組は何かあるか。
- これまでの利用状況を踏まえて、本年3月にダイヤ改正を行ったところであり、引き続き利用動向を注視して参りたい。〔京都市交通局〕
- 観光特急バスは黒字とのことだが、運賃が高いことが要因なのか、それとも停留所が少ないことにより運行コストが抑えられていることが要因なのか、もし分かれば教えていただきたい。また、通常的生活交通とは違う「観光特急バス」という名称によって、ある程度柔軟に料金を設定しやすい面もあるかと思うが、どうか。
- 観光特急バスは、採算性というよりは、混雑緩和を何とかしたいという思いで始めたものであるが、黒字の要因としてはやはり一般系統よりも運賃単価が高いことが大きいと考えている。また、「観光特急バス」という名称により、早く目的地に到着できるというイメージもあり、一般系統とは別の運賃に対する理解も進みやすかったと感じている。〔京都市交通局〕
- 観光特急バスの運用に当たっての課題はあるか。
- 観光特急バスは土日祝日のみであるが、平日も運行して欲しいというお声をいただいているところ。ただ、平日は通勤通学の路線も含めてフル稼働している状態であり、全国的な課題ではあるが、やはり運転士の担い手確保が大きな課題。また、観光特急バスの運用という意味では、一般系統との乗り間違えが起きないようにしたり、乗り方の違いなどを案内する必要があるが、この点については観光特急バスの停車停留所に案内スタッフを配置するなどの工夫をさせていただいているところ。〔京都市交通局〕

○観光特急バスは、地下鉄・バス1日券でも利用できるようにしているとのことだが、1日券の利用促進をしたいという思いもあってのことなのか、教えて貰いたい。また、黒字ということだが、観光特急バスでは恐らく初期投資もあったと思うので、この点も教えて貰いたい。また、観光特急バスによって、地域住民の方には影響がないようにします、といった情報発信を行っているのか、お伺いしたい。

→京都市交通局としては、地下鉄・バスを組み合わせた利用を促していきたいと考えており、そういう思いもあって、地下鉄・バス1日券で観光特急バスもご利用いただけることとしている。また、初期投資のバス停の新設や、案内スタッフの配置などがコストにはなっている一方、利用している車両は普通の一般バスであるため、車両面での投資はない。また、市民向けには、この観光特急バスが、観光課題に向けた一つの象徴的な対策になっているところでもあり、観光客にも喜んで使っていただき、市民の皆様にも効果を実感していただけるようになると大変嬉しいと思っている。[京都市交通局]

○お客様からの声として、市民専用のバスを走らせてほしいという意見があるようだが、何か規制が障害になっているということがあるか。

→市民専用バスはオペレーションも難しく、規制が障害になって実現できないということではないと考えている。[京都市交通局]

○大型のスーツケースの車内持込みも課題になっていると思うが、大型荷物の持込みに当たっては特段料金を課していないという理解で良いか。また、観光特急バスについて、京都市内の他のバス事業者からも関心が寄せられているか。

→大型荷物の持ち込みに関しては特段料金を課していない。また、他のバス事業者でも、季節限定で特急バスの運行を行っている例はあり、観光客のニーズを踏まえながら工夫されているものと承知している。1日乗車券は他社のバスもご利用いただくことができるようになっており、市内の他のバス・鉄道事業者とも協力しながら京都の交通を守っていきたいと考えている。[京都市交通局]

#### <姫路市 発表>

○資料3に基づき、姫路市より発表

○最終的に市民以外の入城料が2,500円になったのは、どのような試算に基づくものなのか。また、姫路城の入城者数は減ったが、収益が増加するという結果について、周辺の観光事業者等はどのように受け止めているのか。

→2,500円は、姫路城の維持・管理に必要なコストを入城者数の見込みで除して算出した。また、料金改定後有料エリアの入城者数は減ったが、人流データを確認したところ、無料エリアである三の丸広場の人流は例年とあまり変化が見られなかった。このため、料金設定による人流への影響はそこまで大きくなかったのではないかと考えている。ただ、一部の事業者からは客入りが減っているという声も聞こえているため、今後はデジタルクーポンを発行して、入城券と、周辺で使えるクーポンを組み合わせ、周辺での観光消費を促進できないかと検討している。[姫路市]

- マスコミによって大きく報道されたことによって、料金設定に関する周知やトラブル回避のための費用が抑えられたということはあるか。また、城の中の展示を充実させるために入城料を高くする、という発想での検討はあったのか。
- 具体的な費用の算出があったわけではないが、本市やDMOによるPRだけでは到底足りなかったと思うので、マスコミによる報道によって、料金についてご不満をいただくケースが非常に少なかったのは、大変有難いと考えている。また、姫路城は国宝であるため、天守内の展示を充実させるというよりは、近くに開設予定の観光交流センターでの展示を充実させていきたいと考えている。〔姫路市〕
- 外国人観光客に対するインタビューで、料金改定を全く知らなかったといったような報道があった。インバウンドに対しても料金改定についてその背景も含めて丁寧に説明していくことが重要と考えるが、どのような周知を行っていたのか。
- 知らなかったとか高いといったお声があることも承知しているが、DMOや海外レップ、JNTOなどを通じてPRに努めてきたところであり、現場感覚としては、料金設定は適正ではないかというお声の方が多数を占めていると認識している。〔姫路市〕
- マスコミによる報道が周知に大きな効果があったということだが、マスコミ向けの説明に多くの時間を使ったということはあるか。また、姫路城は人気だが、なるべく城下町の方も周遊して貰いたいという思いがあると思うが、どのような取組を行っているか。
- マスコミ対応は、基本的には姫路城管理事務所が対応しているが、対応した時間はそこまではない。また、回遊性向上に関しては従前からの姫路観光の大きな課題であるため、ローカルガイドの育成なども含めて、様々なことに取り組んでいる。〔姫路市〕
- 10か年計画については本年策定されたばかりだと思うが、その間料金は固定になるのか、それとも状況に応じた柔軟な見直しは可能なのか。例えば、料金を高くする代わりに、優先的に入城できるような仕組みを作ることができれば、それが訪日外国人旅行者にとって付加価値になるのではないかと考えるが、そういったことも10年間の間に柔軟に考えることは可能なのか。
- 姫路市としては、維持・管理に係る費用から逆算して料金設定しているところであるが、優先入場したいといったお声もあり、今後考えていく必要はあると思っている。ただ、混雑する時期は決まっているので、例えば、先ほどお話ししたデジタルクーポンなどで待ち時間を有効に活用いただくなど、様々な対策を講じて参りたい。〔姫路市〕
- 現在、建築資材等の様々なコストが上がっているが、姫路城の事業費積算の中ではこのような部分は織り込んでいるのか。
- 通常のインフレスライドの部分についてはある程度見込んだ上での積算となっている。〔姫路市〕
- 当初検討していた「外国人・日本人」の区分について、議会や有識者の意見を反映させて採用しなかったということだが、最終的にはどのような整理で採用しなかったと理解すれば良いか。
- 憲法14条の法の下での平等の観点から適当かという議論もあったことから、最終的には、

本市が運営管理している姫路城に係る税負担や、景観規制を甘受していただいていることなど、市民は様々な負担をしていただいているという点を考慮した結果、国籍に着目するのではなく、居住地に着目して市民の価格を据え置くことで、実質的に公平性を担保すると整理させていただいた。〔姫路市〕

以 上